

県政番組『大好き！やまぐち』で 総合型地域スポーツクラブが紹介されました！

「41%。皆さんこの数字が何の数字だか分かりますか？実は、山口県における成人の週1回以上のスポーツ実施率なんです。これは全国の実施率53.6%より低い割合となっています。そこで、山口県では、スポーツ活動の定着・習慣化を促進するための取り組みを進めています。」というアナウンサーの言葉で始まった番組「大好き！やまぐち」。「スポーツを身近に！総合型地域スポーツクラブ」をテーマに、8月15日(土)の18時50分から、TYS テレビ山口で放映されました。

始めに、スポーツ推進課の谷川主査が山口県の総合型地域スポーツクラブについて説明しました。「県では、県民の皆さんのスポーツ活動の拠点となる、『総合型地域スポーツクラブ』の設立・育成を支援しています。この『クラブ』は、身近な地



域でさまざまな活動に親しむことのできるクラブのことで、子どもから高齢者あるいは、初心者から上級者まで、どんな方でも参加できるという特徴をもったスポーツクラブです。いつでも、どこでも、いつまでも。気軽にスポーツを楽しもう！をコンセプトに、現在、県内各地に53のクラブが設立されています。」

クラブの取材は、平成13年から活動を行っているNPO法人ゆうスポーツクラブに受けいただきました。アナウンサーの木村さんは、会員の皆さんが楽しそうに活動されているようすを楽しそうに見ておられました。

卓球、バドミントン、ヨガ教室など、さまざまな運動を取り入れて活動を行っているゆうスポーツクラブの様子を紹介しながら、会員へのインタビューもありました。

「クラブに参加してみて感じたことは？」という質問に対して、「近くの施設で色々なスポーツを楽しむことができるので、スポーツをする機会が増えました。」
「幅広い年齢層の方がいるので、新しい交流が生まれて毎回とても楽しみです。」などの答えがありました。

番組の最後には、各地域で開催予定のスポーツフェスタについて紹介があり、どなたでも気軽に参加できるクラブであることをしっかり宣伝していただきました。

◆令和2年度スポーツフェスタの概要◆

コロナ禍の中、開催日を変更しながらも、各地域でスポーツフェスタの計画が進んでいます。しかしながら、やむなく中止せざるを得ない地域もあり、厳しい現実の中ですが、感染予防対策をしっかりとした上で、安心して参加できる状況での実施を目指しています。

8月末現在の開催計画は次のとおりです。他地域の皆さんも気軽に参加できますので、お問い合わせください。

地域	開催日	開催場所	主な内容
岩国	11/22(日)	本郷小中学校体育館	ポッチャ
県央	12/25(金)	きらら博記念公園 多目的ドーム	サッカー教室
厚狭	11/7(土)	美東センター・秋芳洞	切り絵とジオツアー
下関	9/27(日)	セービング陸上競技場	いきいき健康体操 フォークダンス レク式体力チェック
長門萩	9/6(日) 9/12(土)	陶芸の村 グラウンド・ゴルフ場 ルネッサ長門	グラウンド・ゴルフ バレーボール・卓球
柳井	中止	—	—
周南	中止	—	—

わくわく(輪く和く)通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.35

2020年

8月



2 クラブが仲間入りしました！

SSC 西京



山口市を拠点に活動する SSC 西京が、3 年の準備を経て、7 月 11 日に県内 52 番目のクラブとして誕生しました。予定では、お花見シーズンに企画していたイベントとともに、盛大に設立の宣言をするはずでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるを得ず、縮小した形での開催となりました。

このクラブは、準備に入った当初、アーチェリークラブを母体としたクラブづくりを目指していましたが、活動していく中で立ち上げた社会人サークルに多くの参加があったことで、“今求められているものは社会人向けのコミュニティづくりではないか”と感じ、新たな方向性を見出しました。社会人をターゲットとしていることもあり、役員や会員は、20～30 代が中心のフレッシュさ溢れるクラブです。現在、定期的に行っているサークルや教室は少数ですが、これから増えていくことでしょう。また、感染症の状況を見ながらではありますが、楽しいイベントも企画していくようです。

将来的には、多様目・多世代・幅広い趣向の人たちが集まりやすい環境をつくり、人と人をつなぐ役割をクラブとして果たしていきたいという思いを持っておられます。予想もしていない状況でのスタートとなりましたが、今後の活動が楽しみです。



おばやまエンジョイクラブ

宇部市小羽山地区体育振興会の内部組織として、7 月 12 日(日)に、県内 53 番目(宇部市で6番目)のクラブとして発足しました。

平成 29 年 11 月から、地域の課題を話し合い、地域活動の担い手や若い世代の参加者の減少、スポーツ少年団の加入率の低下、メディアの影響等による小学生の運動能力と朝食摂取率の低下が取り上げられました。そこで、宇部市や同市地域・保健福祉支援チームからの支援を受けたり、12 人の実行委員が ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)の講習会を受講したりして、約 2 年間の準備期間を経てこの日を迎えました。



このクラブの発足にあたり、まずは、おばやま ACP 定期教室を開催し、「子どもたちがルールを作ったり、遊びを変化させたりして主体的に活動できる ACP を提供することで、子どもたちの今日的課題を解決したい」との思いを確認し、小羽山地区体育振興会の朝廣成実会長を中心にスタートしました。

この日は、山口県、宇部市からの来賓、地元自治会や教育関係者の立ち合いで、発足式をした後、ACP 教室を行いました。コロナ感染予防対策のために、接触を避けたプログラムでの運動遊びになりましたが、21 人の会員と 12 人のスタッフで楽しみながら運動できました。

今後、これまで体育振興会でやってきた活動との調整を図りながら、多世代で活動・交流できるクラブにしていくという大きな目標を掲げて、小さな一歩を踏み出したところです。

【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央生涯スポーツ推進センター(山口県体育協会)

TEL 083-933-4697

FAX 083-933-4699